

## 令和5年度第4回佐渡市地域自立支援協議会 議事録

日時・場所	日時：令和6年3月18日（月）午後1時30分～午後3時 会場：新穂行政サービスセンター 第2・3学習室
議 題	1 開 会 2 議 題 (1) 第4次佐渡市障がい者計画・第7期佐渡市障がい福祉計画・ 第3期佐渡市障がい児福祉計画について(パブリックコメント の結果報告等) (2) 自立支援協議会専門部会の作業状況報告について (3) 自立支援協議会体制見直しについて 3 その他 4 閉 会
会議の公開・非公開	公開
参加者	(1) 医療機関を代表する者 ・佐渡総合病院  副院長    岡崎    実 (2) 障害福祉サービス事業所を代表する者 ・社会福祉法人佐渡福祉会  副理事長    児玉    功 ・社会福祉法人しあわせ福祉会                                    理事        中川    恭一 ・社会福祉法人とき福祉会  理事長        三浦    道夫 (3) 関係行政機関の職員 ・新潟県佐渡地域振興局  局長        澁谷    有子 ・佐渡市教育委員会  教育長        香遠    正浩 (4) 市長が必要と認める者 ・佐渡市手をつなぐ育成会  会長        佐藤    美恵子 ・佐渡市精神障がい者家族会佐渡よつば会                        会長        山本    紀美代(座長) ・佐渡市民生委員児童委員協議会                                    理事        濱田    忠男 ・佐渡連合商工会  理事        中原    一良 ・佐渡公共職業安定所  所長        小島    勇一 ・新潟県立佐渡特別支援学校  校長        水谷    武 ・佐渡市障がい者相談員  代表        信田    恵子 出席者 計13名（1名代理）

<p>専門部会 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者就業・生活支援センターあてび センター長 高野 由香</li> <li>・相談支援事業所 こもれび 管理者兼相談支援専門員 寺沢 正旭</li> <li>・相談支援事業所 愛らんど 相談支援専門員 奥村 拓也</li> <li>・相談支援センター そらうみ 管理者兼相談支援専門員 石川 和順</li> <li>・新潟県新星学園 園長 小嶋 眞</li> <li>・新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部 総務福祉課主任 嶋倉 瞬</li> </ul> <p style="text-align: right;">計 6 名</p>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉課 課長 知本 政則</li> <li>・社会福祉課障がい福祉係 係長 半田 梨紗</li> <li>・社会福祉課 総合福祉相談支援センター センター長 海老 由紀</li> <li>社会福祉士 出崎 丈陽</li> <li>・子ども若者課 子ども若者相談センター センター長 田村 京子</li> </ul> <p style="text-align: right;">計 5 名</p>
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 5 年度第 4 回佐渡市地域自立支援協議会会議次第</li> <li>・令和 5 年度第 4 回佐渡市地域自立支援協議会参加者名簿・席次表</li> <li>・資料 1 佐渡市障がい者プラン・修正事項</li> <li>・資料 2 各専門部会作業状況報告</li> <li>・資料 3 自立支援協議会体制見直しにかかる資料</li> </ul>
<p>進行及び 協議内容</p>	<p>1. 開会</p> <p><b>【事務局進行】</b></p> <p>&lt;配付資料の確認&gt;</p> <p>&lt;座長に議事進行依頼&gt;</p> <p>&lt;座長よりあいさつ&gt;</p> <p><b>【座長進行】</b></p> <p>2. 議題</p> <p>(1) 第 4 次佐渡市障がい者計画・第 7 期佐渡市障がい福祉計画・第 3 期佐渡市障がい児福祉計画について(パブリックコメントの結果報告等)</p> <p>&lt;事務局より一括説明&gt;</p> <p>パブリックコメントにおいての意見はなかったが、県障害福祉課の意見等もふまえ一部修正した箇所について説明(資料 1)。</p> <p>(A 委員)</p> <p>素案 7 ページ 2 行目。「総人口が減少傾向にある中で療育手帳所持者数は微増傾向にある」と記載してあるが、年代別グラフでは 18 歳未満の若年層が推移していることがわかることから「18 歳未満の療育手帳所持者数は微増傾向にある」と記載したらどうか。支援の受け手側が増えて支え手側が減っていることがわかる。</p>

(事務局)

いただいたご意見の内容に変更する。

(2) 自立支援協議会専門部会の作業状況報告について

各専門部会事務局より今年度実施した内容について説明(資料2)。

(B委員)

就労支援部会について。企業向けの障がい者雇用セミナーの参加企業数を教えて欲しい。実際障がい者を雇用している企業か? 関心がある企業か?

(事務局)

オンラインセミナーで開催し11回線参加。支援機関も含まれており、企業の参加数は正確な数は不明だが10社未満。実際に雇用している企業のほか、従業員数が少なく法定雇用率の対象にならない少人数の企業の視聴もあった。

(B委員)

アンケートで「参考になった」との意見があったが、セミナー参加を機会に雇用しようという気持ちに繋がった等の細かな意見が得られたか。雇用までいかないのであればどんな原因があるのか等、他に企業からの意見や情報があったか。

(事務局)

登壇した市内2企業が、既にあてび登録の障がい者が働いている企業だった。作業所に長らく通っていたが、企業担当者にあてび職員が話し合い連携するなかでうまく就労に結びついたケースもあった。また、企業より発達障害者の接し方にかかる社内研修の提案があり、あてびが支援し開催した事例もある。目に見えない障がいをもつなか、ふとしたときに配慮が必要なことを気付くが普段は障がいの有無関係なく他の従業員と同じように一緒に働いているケースもある。

(B委員)

障がい者個人の資質や企業の考えもあるが、説明を聞き、ていねいに対応していることがわかった。ありがとうございます。

(C委員)

障がい者雇用セミナーの周知はどういう形で実施したのか?

(事務局)

業務で付き合いのある企業にチラシを配ったり、ハローワークにも協力してもらった。遅くなってしまったが、佐渡市産業振興課にも商工会等各種団体への周知もお願いしたが、うまくいかなかったところがある。次年度はさらに少人数の企業にも、地域で障がい者が活躍することを考え、直接出向き協力をお願いするなどして周知を広げようと考えている。

(C委員)

次年度も実施の予定があるか？

(事務局)

セミナーという形にするかは決めていないが、企業どうしの座談会等の形式で話し合える場を作りたいとは考えている。具体的なものはこれから考えて、周知を図っていきたい。

(3) 自立支援協議会体制見直しについて

各専門部会構成員に意見照会し再度見直し、各会議体の役割について変更した点も含めて説明(資料3)。

(B委員)

全体図のところ。相談支援連絡会から事務局会議へ向かう矢印、専門部会と事務局会議の間の双方向の矢印の内容について教えて欲しい。それぞれに県がメンバーに入っているがどのような役割になっているのか。

(事務局)

相談支援連絡会から事務局会議へ向かう矢印は、相談支援連絡会で地域課題を吸い上げ、事務局会議で内容を精査し、各専門部会に割り振る形を意味する。専門部会から事務局会議への矢印は、事務局会議が協議会全体の運営の役割も担うことから、各専門部会の報告を受ける場所になる。

(B委員)

そこで県に求められるものはあるのか？事務局会議は相談支援連絡会から抽出された課題をさらに精査するのか、振り分けるだけなのか？

(事務局)

相談支援連絡会はいろんな現場での課題を集めて抽出し考えていくところ、事務局会議では、さらに、どの課題を集中してやらなければいけないのか考える。国から求められている協議内容についても話し合いたいと考えている。

今回の協議は、市・県の計画についても、事務局会議のなかで調整やご助言をいただけたらと思う。相談支援連絡会は現場、事務局会議はその上部と考えている。

(B委員)

相談支援連絡会と事務局会議、2つある意味がよくわからない。県にこういうことをしてほしいということを早急に伝えてほしい、内部で検討したい。

(B委員)

専門部会は3つできるということだが、参加者がどのような目標、目指すところを共有できるよう、部会ごとに設置要領等作成検討してほしい。

	<p>3. その他</p> <p>&lt;事務局より&gt;</p> <p>令和6年7月13日、佐渡障がい福祉フォーラムを開催予定。相談支援事業所こもれびと相談支援センターそらうみが中心となり準備を進めている。ぜひ参加してほしい。</p> <p>&lt;議事終了。座長よりあいさつ&gt;</p> <p>&lt;座長終了&gt;</p> <p><b>【事務局進行】</b></p> <p>4. 閉会</p> <p>計画策定にあたり、昨年度からお忙しいところをご審議いただき、ありがとうございました。3月中に策定・印刷し、4月にはお配りする予定です。本日はありがとうございました。</p>
備 考	